明治20年

小學校教科用書

高等小學讀本

文部省編輯局

高等小學讀本

緒言

一此書ハ、本局ニ於テ編纂セル尋常小學讀本ニ次ギ、高等小學科第一學年ノ初ヨリ、第四學年ノ終マデ兒童ニ、讀書ヲ教フルノ用ニ供センガ爲ニ、編纂セルモノニシテ、全部通シテ八冊トス。

一此書ヲ學ブノ兒童ハ、知識已ニ漸ク發達スルニ由リ、其材料モ、從テ高尚ノ事項ヲ選擇セザル可カラズ。且言語、文章ヲ教フルノ目的ハ、諸般ノ學術、工藝ノ端緒ヲ開クニ在ルニ由リ、其材料ノ、漸ク錯雜ナルベキハ、自然ノ順

序ナリ。故ニ此書中ニハ、修身、地理、歴史、理科及ビ農工商ノ常職ニ要用ナル事項等ヲ、其主意ノ難易ニ從ヒ、交互ニ錯出セリ。

一此書ニ記述スル修身上ノ事項ハ、賢哲ノ格言、教旨ノ如キ、直接ニ命令禁戒スルノ體ヲ避ケ、專ラ小說、譬喩、諺言、傳記、詩歌等ヲ用ヒテ、兒童ノ愉悅心ヲ喚起シ、誦讀ノ際、自然ニ智勇ノ氣力ヲ養成シ、從順貞淑、友愛ノ情ヲ感發シ、兒童ヲシテ、其身ヲ愛重シ、其志ヲ高尙ナラシメンコトヲ期ス。

一地理ハ、本邦有名ノ都府、勝區等ノ記事ニ始マリ、支那、歐米諸國ノ、我邦ト親密ナル關係ヲ有スル大都ノ情況ヲ略說セリ。是レ地理書ノ、足ラザル所ヲ敷衍センコトノ主意ニ出ヅルモノナリ。又歷史ハ、本邦古今ノ著名ナル事蹟ヲ記述シ、以テ兒童ヲシテ、帝室ヲ尊ビ、國家ヲ愛スルノ志氣ヲ涵養セシメンコトヲ主トセリ。

一理科ノ事項ハ、草木、鳥獸等ノ特性、及ビ其人生ニ要用ナル所以ヨリ、物理、化學ノ大體ヲ解說セリ。又今日ニ在リテ必要トスル諸力、諸器械ニ於ケル發明ノ顚末、發明者ノ傳記等ヲ記述シテ、兒童ノ奮發心ヲ興起センコトヲ務メタリ。且理科ノ事項ニシテ、兒童ニ理解シ難キモノハ、是ヲ對話體ニ寫シ出ダシテ、卷末ニ附記セリ。是レ兒童ノ理解ヲ容易ナラシムルノミナラズ、兼テ又辯論術ヲ

モ、養成センガ爲ナリ。

一製造ノ業、經濟ノ理等ハ、兒童ガ、他日工商トナリテ、知ラザル可カラザル事項ナルニ由リ、特ニ意ヲ用ヒテ、是ヲ記述セリ。且郡、市、府、縣、警察、中央政府ノ組織ヨリ、法律ノ大體ニ至リテハ、我邦人ノ、一般ニ通曉スベキ者ナルニ由リ、兒童ノ知識發達スルノ程度ヲ斟酌シテ、是ヲ記述シ、以テ他日國家ニ對シテ盡スベキノ本分ヲ知ラシメンコヲ期シタリ。

一古人ノ文ヲ其儘ニ擧ゲタルハ、其主意二樣アリ。一ハ、其文ノ、因テ以テ軌範トスルニ足ルベキモノヲ取リ、一ハ、其事實ノ、參考ニ供フベキモノヲ取リタルナリ。

一此書ニ於テハ、文章ノ、華美ニシテ雅馴ナランヨリハ寧ロ其記述スル事項ノ價値ヲ重ズルニ由リ、其文體ハ、成ルベク簡單明瞭ニシテ、理解シ易カラン事ヲ主トセリ。且文字ノ、新奇ニシテ學ビ難カルベキモノハ、其課ノ末ニ摘錄シテ、是ニ註解ヲ加ヘ、又地名、人名ノ、讀ミ難キモノニハ、傍訓ヲ施シ、原語ヲ其儘ニ記シタル處ニハ、其下ニ原字ヲ插入シテ、對照ノ便ヲ謀レリ。

一此書ハ、本局ニ於テ編纂シ、本省、特ニ設クル所ノ審査委員ノ審査ニ付シ、文部大臣ノ裁定ヲ經テ成レルモノナリ。

明治二十年十月

文部省編輯局

高等小學讀本卷之一

目次

吾國
知識ヲ得ルノ方法
子鹿ノ話
都會
東京
兄ノ親切
吾家
日本古代ノ略說
京都

日本武尊ノ武勇
一滴水ノ話
閻ノ板戸
日本武尊ノ東夷征伐
木炭
大江某ノ話
商賣及ビ交易
大坂
上古ノ人民
榮ゆく御代
雞ノ話

（二一章）

海岸
横濱
菜豆
三韓ノ降服
時計
犬ノ話
雲ト雨トノ話
雲
文學ノ渡來
海中ノ花園
長崎

（三一章）

書籍
茶ノ話
手ノ働
三韓

高等小學讀本卷之一

第一課　吾國

吾大日本ハ、亞細亞洲ノ一帝國ニテ、其形ハ、東北ヨリ西南ニ向ヒ、ホソ長キ島國ナルニヨリ、氣候モ從テ變化スレドモ、概シテ温和ニシテ、其土地ハ肥エ、產物ニモ富ミタリ。

世界萬國ノ中ニテ、獨立國ト云ヘルモノ、其數多シ。サレドモ、萬世一系ノ天子、是ヲ統御シ給ヒテ、二千年餘連續セル國ハ、吾國ノ外ニ其類アラズ。吾等ハ、斯ル國ニ生レ、而モ今日ハ、萬國ト富強ヲ競フベキ時ニ當レリ。故ニ此帝國ノ臣民タル吾等ガ務ヲ盡サンニハ、只力ヲ致シテ學問スルニア

第二課　知識ヲ得ルノ方法

各人自ラ奮發シテ、能ク農、工、商ノ業ヲ勵ムニハ、大ニ知識ニ賴ラザルベカラズ。知識ヲ得ルニハ、只書物ヲ讀モタルノミニテハ足ラズ、必ズ事物ヲ精密ニ觀察シテ、而シテ後、知識ノ門ニ入リ得ベキナリ。

事物ヲ精密ニ觀察スルニハ、目ノ力ヲ養ヒテ、尤モ大切ナリ。目ノ力ヲ養ハンニハ、何ノ事物ニ就キテモ、常ニ目ヲ開キテ、其力ヲ用フルコトニ注意スベシ。若シ注意セザレバ、目ヲ開キ居ルモ、恰モ明キ盲ノ如クニシテ、知識ハ、能ク得ラレヌモノナリト知ルベシ。

サテ、能ク目ノ力ヲ用フル人ハ、山川、原野ニ遊ビ、花ヲ見、鳥

ヲ見、獣ヲ見ルモ、其物ノ形狀、性質ナドニ注意スルニ由リ、見ル物トレテ其心ヲ樂マシメザルハナシ。サレバ、事物ヲ精密ニ觀察スルハ、其人ノ知識ヲ增スノミナラズ、其樂ノ場所ヲ廣ムル者ト云フベシ。

[illegible]

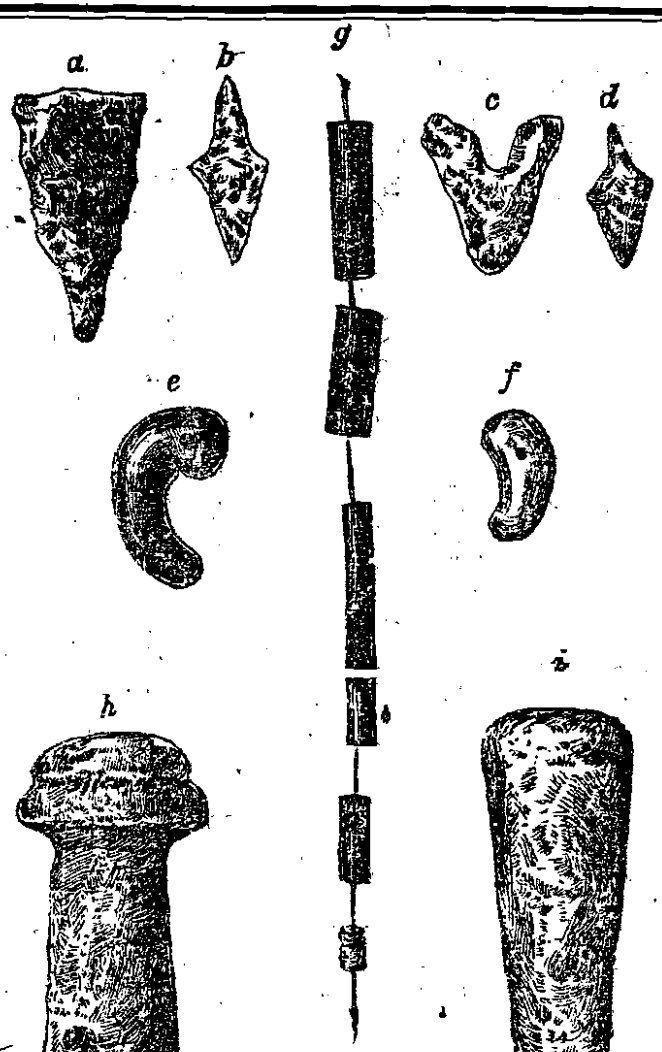
爰ニ、或ル野蠻人ガ、能ク目ノ力ヲ用ヒタル話アリ。彼野蠻人ハ、一日、己ガ小屋ニ掛ケ置キタル獣肉ヲ奪ハレタリシカバ、其邊ヲ能ク觀察シテ後ニ、是ヲ奪ヒタル者ヲ捕ヘントテ、直ニ林中ニ走リ行キタリ。其林中ニテ、二三人ノ遊獵者ニ出デ遇ヒタレバ、其人々ニ向ヒテ、君等ハ、身ノ長ケ矮キ老人ニ遇ヒ給ハザリシカ。予ハ、其人ヲ見タルニハアラザレドモ、其人ノ尾ノ短キ小犬ヲ連レタルナラント。遊獵者ハ、是ヲ聞キ、如何ニモ斯ル人ニ出デ遇ヒタリ。汝、如何ニシテ嘗テ見ザリシ人ヲ、斯ク精密ニ知リ得ルカト。野蠻人云ク、其人ノ身ノ長ケ矮シト云フハ、獣肉ヲ取ランガ爲ニ、石ニテ踏臺ヲ造リタレバナリ。又其老人ナリト云フハ、沙上ニ殘リタル足跡ノ距離、甚ダ近ケレバナリ。又尾ノ短キ小犬ヲ連レタリト云フハ、其老人ガ、沙上ニ坐シテ、彼獣肉ヲ食フニ當リ、其側ニ犬ノ蹲リ居タル痕跡ニ由テ判斷セリト。遊獵者ハ、是ヲ聞キ、大ニ其觀察ノ精密ナリシニ驚キタリト云ヘリ。此野蠻人ノ如キハ、目ニ一丁字ヲ知ラズト雖モ、能ク眞ノ知識ヲ得ルノ法ヲ知リタルモノト云フベシ。

一丁字（ゴクヤサシキ字。）

第八課　日本古代ノ略記

吾國古代ノ事ハ、明ニ知ルベカラズ。古キ記錄モ、人々ノ、話シ傳ヘタル事ヲ、書キ集メタル者ナレバ、其話シ傳フル間ニハ、洩レタル事モアルベク、又無キ事ヲ書キ加ヘタルモ、無キニハアラザルベシ。サレバ、古代ノ記錄ハ悉ク信ズベキ者トハ、言ヒ難カラン。

近來ニ至リ、古物ヲ研究スル學問、漸ク進歩シテ、吾國ノ古物ヲモ、此學問ニ由テ、研究スルヨウニ、少シハ、古代人民ノ有樣ヲモ、知ルヿヲ得ベシ。已ニ二三ノ學者ハ、吾國ノ古物ヲ研究シテ、其書ヲ著シ、古キ記錄ニ載セザル事ヲ發明セシヿ少カラズ。



古器物ニ二種アリ。即チ粗キ石器ト、磨キ上ゲタル石器トナリ。矢ノ根石、天狗ノ飯匙、フンドン石等ハ、粗キ石器ニシテ、雷斧、雷槌、石劍、勾玉、管玉等ハ、磨キ上ゲタル石器ナリ。矢ノ根石ハ、戰爭ニ用ヒ、天狗ノ飯匙ハ、工事、又ハ、農事ニ用ヒ、フンドン石ハ、漁業ニ用ヒタル道具ナルベシ。雷斧、雷槌、石劍ハ、武器ナルベシ。雷槌ニハ、種々ノ形狀アリテ、彫物シタルモノサヘアリ。

勾玉、管玉ハ、多クハ、古塚ヨリ掘リ出ダシテ、其質ハ、玉、瑪瑙ナドニテ造リ、其色ハ、種々ナレドモ、多クハ、美麗ナリ。是等ノ玉石中ニハ、吾國ニ無キ物モアレバ、或ル學者ハ、外國ヨリ來リタル人民ノ所持セシモノナラント云ヘリ。勾玉、管玉等ハ、皆首飾、頸飾ナドニ用ヒ、其人死スレバ、生時愛シタル物ナリトテ、是ヲ死骸ト共ニ埋ムヲ常トセリ。

第九課　京都

京都ハ、昔、桓武天皇ノ、皇居ヲ定メ給ヒシ地ニシテ、夫ヨリ千百餘年ノ間、累代ノ帝都タリ。明治ノ初メ、東京ヲ以テ皇居ト定メ給ヒシカド、京都ハ、猶三府ノ一ニ居リ、其繁華ナルコトハ、日本第三ノ都會ナリ。

京都ハ、山城國、葛野、愛宕ト云ヘル二郡ニ跨リテ、地勢ハ、概ネ平坦ナリ。古ハ、京都ヲ二ツニ分ケテ、東ヲ左京ト云ヒ、西ヲ右京ト云ヘリ。又加茂川ヲ限リ、西ヲ洛中、東ヲ洛外トモ

港場ヘ、太港ニテ、開市場ハ、一個所ナリ。

第二十四課　菜豆

今、此ニ、十個ノ豆アリ、是ハ、モト菜豆ト云フ植物ノ種ナリ。元來、此豆ハ、世人ノ、殊ニ嗜ム者ナレバ、其萌芽ノ狀、成長ノ樣ナドハ、吾等ノ、常ニ研究センコトヲ、好ム所ナリ。

種ハ、植物ヨリ取リテハ、鳥ノ卵ノ如キ者ナリ。鳥ハ、卵ヨリ生レ出テ、成長シ、能ク空氣中ヲ飛翔スルニ至ルナリ。植物モ、種ヨリ生レ出テ、成長シ、花ヲ開キ、實ヲ結ビテ、遂ニ種ヲ造ルニ至ルハ、鳥ノ卵ヨリ出テ、成長スルニ、少シモ異ナルコトナシ。

菜豆ノ種及萌芽

今、菜豆ノ種ニ就テ、ホモシロキ一ノ試驗ヲ爲サン。茲ニ、一ノ皿ヲ置キ、其中ニ濕リタル苔、又ハ、綿ヲ充ツベシ。而シテ是ニ菜豆ノ種ヲ蒔クトキハ、四五日ヲ經テ、其種ノ、始テ萌芽ヲ發スルヲ見ン。

初メ、其萌芽ヲ發スルトキ、薄キ皮ノ下ニアル厚キ物ガ、膨脹シテ柔ニナリ、其端ヨリ、細ク尖リタル物ヲ出ダスベシ。此尖リタル物ハ、遂ニ根トナルナリ。其時、彼厚キ物ヲ開キ見レバ、其中ニハ、極テ小サク疊

ミタル二枚ノ葉アルベシ。斯クノ、根ヲ出ダシテ成長スル間ハ、菜豆ハ、其厚キ物ノ中ニ貯ヘタル養料ヲ取リテ成長スルナリ。其根ノ、漸ク成長スルニ從ヒ、厚キ物ハ、開ケテ二枚トナリ、稍葉ノ形ヲ爲シ、其眞中ニ疊マレタル小葉ハ、直立スル。其小葉ノ、成長スルニ從ヒ、厚キ物ハ、漸ク薄クナリ、遂ニ脫落スルニ至ル。

彼厚キ物ノ、脫落スル前ニ、菜豆ハ、根ヲ地面ニ移植スベシ。是ヲ移植シテ後、漸ク、日數ヲ經ルニ從ヒ、其根ヨリ、何本トモナク、髮ノ毛ノ如キ小根ヲ出ダシ、小葉ハ、始テ分レテ二枚トナリ、日光ヲ受ケテ、次第ニ成長セン。是レ菜豆ノ如キ植物ノ、成長スル順序ナリ。

第二十五課　三韓ノ降服

仲哀天皇ノ時、筑紫ノ熊襲、叛キテ朝命ヲ奉ゼズ。天皇、因テ筑紫ニ幸シテ、橿日宮ニ居リ、群臣ヲ會シテ、熊襲ヲ討タンヲ議セシメラル。已ニシテ、天皇、暴ニ病ミテ崩シ給フ。皇后氣長足姫尊、祕シテ喪ヲ發セズ。鴨別ヲ遣シテ、熊襲ヲ討タシメテレシニ、熊襲、旬日ニシテ降服セリ。氣長足姫尊トハ、神功皇后ノ御事ナリ。

神功皇后ハ、熊襲征服ノ後、意ヲ決シテ新羅ヲ征伐セント欲シ、男裝ヲナシテ、親ラ諸軍ニ號令シ、遂ニ軍ヲ率ヰ、軍艦ニ乘リテ、出發シ給フ。

明治20年

小學校教科用書

高等小學讀本

文部省編輯局

高等小學讀本卷之二

目錄

皇統一系
神器國旗
兵庫神戸
火ノ話
佛法ノ渡來
猫ノ話
恩ニ報ユルニ德ヲ以テス
新潟

氷ノ話
藤原氏
虎ノ話　（二一章）
上毛野形名ノ妻
函館
木綿
後三條天皇
狼ノ話
金澤
砂糖ノ製造
根ノ話

遣唐使
山ト河トノ話　（二一章）
象ノ話
名古屋
植物ノ增殖
恩義ヲ知リタル罪人
留學生
仙臺
葉ノ形狀
僧空海
二ツノ息　（二一章）

14

奇妙ナ薗

第一課　皇統一系

或ル人、問ヒテ曰ク、我國ハ、萬國ニ優レテ、尊キ國ナルコト、人人ノ、常ニ言フ所ナリ。願クハ其大略ヲ承リタシ。

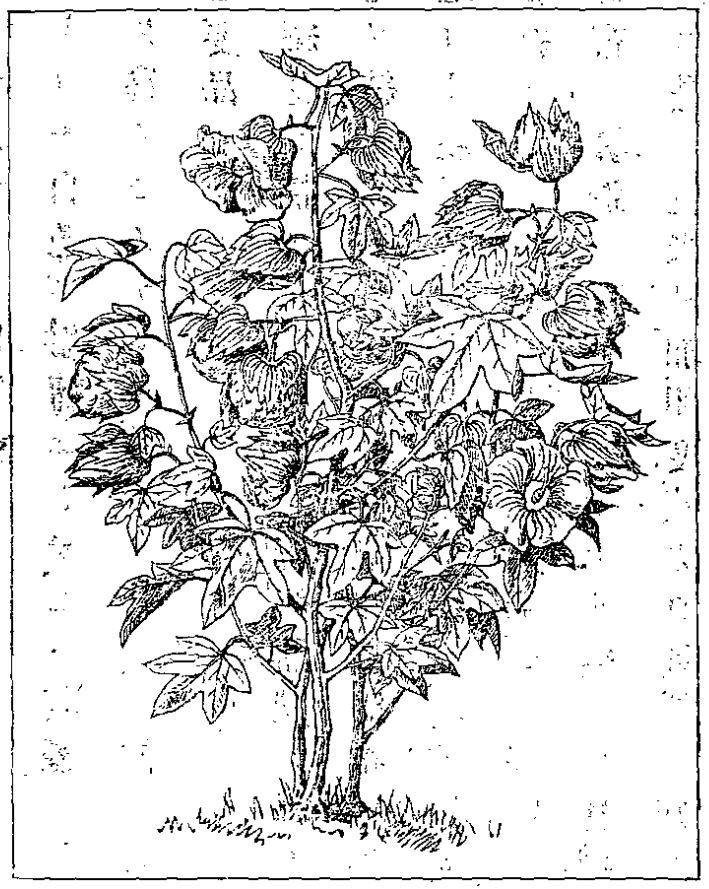
答ヘテ云ク、君ノ問ハル、所、甚ダ道理アリ、但シ大畧ト云フモ、一朝一夕ニ盡スベキニアラザレバ、大略中ノ大略ヲ述ブ可シ。蓋シ天皇ノ御血統ハ、神代ヨリ、連綿トシテ、數千年ノ今日ニ至ルマデ、我國ノ大君ナルコトハ、萬人ノ、能ク知ル所ナリ。然ルニ、支那、其他ノ外國ニテハ、今日、臣タル者モ、明日ハ、其主人ヲ弑シテ、王トナル者アリ。或ハ、王ニ位ヲ禪

昆布、石炭、硫黄ニシテ、殊ニ貴キモノハ、臘虎、膃肭臍ナリ。産物中、支那人ノ嗜ムモノ多キガ故ニ、年々、支那ヘ、輸出スルモノ、甚ダ多シトス。近年、五稜廓ノ外濠ニテ、氷ヲ製シ、諸國ヘ送リテ、盛夏ノ用ニ供シ、又是ヲ本港ノ特産トナセリ。

第十五課　木綿

衣服ニ用フル品物ニテ、絹ト羅紗トハ、動物ノ生産ニ屬シ、綿ト麻布トハ、植物ノ生産ニ屬ス。而シテ綿布ノ類ハ、皆綿ヨリ造ル者ニシテ、其需用ハ、殊ニ多シ。

綿ハ、植物ヨリ取リテ、是ヲ衣服ト爲スマデニハ、人ノ手ヲ經ルコト、幾許ナルカ、實ニ莫大ノ人功ヲ要スルナリ。然レドモ、



草綿

斯ク、幾多ノ人力ヲ用ヒテ、衣服ト爲ス所ノ綿ハ、如何ナル植物ヨリ取ル者ナルカ、又其植物ノ如何ナル部分ガ綿トナル者ナルカ是レ亦知ラザルベカラズ。

綿ニハ、木綿、草綿等ノ種類アリ。吾國ノ綿ハ、草綿ニシテ、高

サ、二三尺、葉ハ、五尖、或ハ三尖ナリ。花ハ、黄色ニシテ、實ノ形ハ、桃子ニ似タリ。九月、十月ノ頃、實、熟スレバ、綿花ヲ吐ク。綿花ハ、種子ニ着キタル白色ノ纖維ニシテ、モト其種ヲ保護シテ、寒熱ヲ防グ爲ノモノナレドモ、後ニハ、却テ人間ノ身体ヲ保護スル必要品トナルナリ。

實、熟スルヤ、綿花ヲ摘ミテ、是ヲ乾シ、綿繰器械ニ掛ケテ、種子ヲ去リ、是ヲ紡ギテ、絲トナシ、是ヲ織リテ、綿布ト爲ス。

吾國各地ヨリ産出スル白木綿、縞木綿ハ、其需用、廣シト雖モ、金巾、更紗ノ類ハ、外國ヨリノ輸入品、頗ル多額ヲ占ム。英吉利ハ、綿布ノ製造ニ有名ナル國ナリ。然レドモ、其國、綿花ヲ産セズ。故ニ是ヲ亞米利加、印度、濠太剌利等ニ仰ギテ、

綿布ニ製造シ、再ビ外國ニ輸出スルナリ。而シテ年々ノ製造高ハ、實ニ莫大ナリト云ヘリ。

五尖（五ツニ分レテ、其サキノ、トガリタル葉ノ如キヲ云フ。）

第十六課　後三條天皇

後三條天皇ノ御母ハ、藤原氏ニアラザリシカバ、是ヲ援クルモノ少ク、其未ダ位ニ即カセ給ハザル以前ヨリ、藤原氏ノ政權ヲ擅ニスルヲ快カラヌ事ニ思ヒ、又關白藤原賴通ヲ怨ミ給フコトアリシカド、忍ビテ是ヲ發セラレズ。位ニ即キ給フニ及ビ、痛ク藤原氏ノ威權ヲ抑ヘテ、其政柄ヲ奪ヒ、記錄所ヲ太政官ニ置キテ、訴訟ヲ聽キ、賞罰ヲ明ニセラル。

ノ外、全國中二十萬人以上ノ都會ハ、此地ト名古屋トアルノミ。市街ノ繁昌ナル所ハ、尾張町、堤町、南町、片町等ヲ第一トス。

本城ハ、現今、名古屋鎮臺ノ營所トナレリ。石川縣廳ハ、其側ニアリテ、其公園地ヲ兼六園ト稱ス。地高ク池深クシテ、眺望甚ダ佳ナリ。此池水ハ、五里餘ノ郊外ヨリ引キ來リ、其末、瀑布トナル。又市中ニ、尾山神社アリテ、前田利家ノ靈ヲ祀レリ。

兼六園

製造物ハ、金、銀、銅ノ諸器物、及象眼細工ナリ。此物、最モ巧妙ヲ極メ、海外ニモ、其名ヲ知ラル。九谷燒ノ陶器モ、亦甚ダ世ニ稱美セラル。其他ハ、菅笠、中折紙、黒梅染、落雁等ナリ。

第十九課　砂糖ノ製造

凡ソ、甘味アル植物ハ、概ネ、砂糖質ヲ含有セザルハナシ。故ニ砂糖ヲ製スル植物ハ、各國相同シカラズ。今、其二三ヲ擧ゲン。日本、支那、西印度等ハ、甘蔗ヲ用ヒ、佛蘭西、日耳曼、

糖菜ヲ用ヒ、北亞米利加ハ、楓樹ヲ用ヒ、墨西哥ハ、竿蔗ヲ用ヒ、亞非利加ハ、棕櫚ノ實ヲ用フルガ如キ、即チ是ナリ。

斯ク、砂糖ヲ製スル植物ハ、各種アリト雖モ、世人ノ廣ク使用スル所ノ者ハ、即チ甘蔗ヨリ製シタル砂糖ナリ。甘蔗ハ、モト支那ノ産ニシテ、是ヲ吾國、及西洋ニ移植セシ者ナリ。

殊ニ熱國ハ、其蕃殖ニ適スト雖モ、吾國ノ如キ地味、氣候ニテモ、其培養サヘ宜シキヲ得レバ、頗ル蕃殖スルヲ得ベシ。

唯其生長ノ摸樣、大ニ異ニシテ、印度ニ在リテハ、高サ一丈二三尺ニ過グト雖モ、吾國ニ生ズル者ハ、僅ニ六尺餘ニ至ルノミ。

西洋ニテ、砂糖ヲ製造スルニハ、先ヅ甘蔗ヲ刈リ取リ、是ヲ

器械ニ掛ケテ、十分ニ搾リ出ダスナリ。而シテ後、其搾リタル汁ヲ、鍋ニテ煮沸シ、是ニ石灰ヲ加フルキハ、滓ヲ掬ヒ取レバ、綠色ノ汁、變ジテ黃金色ト、ナルヲ見ン。猶再ビ是ヲ煮沸シテ後更ニ桶中ニ注キ、暫ク冷ヤシ置クキハ、皆凝結スルニ至ルサレ

甘蔗ヲ刈リ取ル圖

モ、此砂糖中ニハ、猶結晶セザル糖蜜、混合セリ。故ニ再ビ是ヲ底ニ孔アル桶ニ移スキハ、糖蜜、下ニ流レ落チテ、桶中ニ眞ノ砂糖ノミヲ残留スベシ。是レ即チ粗製ノ黄色砂糖ニシテ、俗ニ是ヲ煮砂糖ト云フナリ。且下ニ流レ落チタル糖蜜モ、菓子ヲ製シ、食物ヲ料理シ、若シクハ、燒酎ヲ醸造スルニ用ヒ得ベシ。

此黄色砂糖ヲ精製シテ、純白ト爲スニハ、粗製品ヲ水ニ溶解シ、是ニ石灰ト蛋白トヲ加ヘテ、煮沸スルナリ。而シテ後、是ヲ獸炭ニテ漉過スレバ、漸ク黄色ヲ失ヒテ、白色トナルベシ。是ニ於テ、是ヲ眞空鍋ニ移シテ、煮沸スルナリ。此眞空鍋ハ、其中ノ空氣ヲ、喞筒ニテ抽キ去ルヿヲ得ル者ニシテ、

低キ温度ニテモ、能ク水ヲ煮沸セシムルナリ。此鍋ニテ煮沸セシ後、再ビ是ヲ木綿ノ嚢ニ注グキハ、糖蜜ハ、下ニ流レ落チテ、嚢中ニハ、純白ノ砂糖ヲ残留スベシ。

眞空鍋ヲ用フルノ理、如何ト云フニ、是ヲ用ヒテ砂糖ノ溶液ヲ煮沸スレバ、二様ノ利益アリ。第一此鍋ヲ用フレバ水ノ蒸發、速ナルガ故ニ、砂糖ヲシテ糖蜜ニ變ゼシムルノ量ヲ減少ス。故ニ砂糖ノ量ヲ耗損スルノ憂少シ。第二鍋ノ水ヲ低温ニテ煮沸スルニ由リ、白色ノ砂糖ヲシテ焦ゲ付キテ、黒色タラシムルノ憂ナシ。是レ此鍋ノ特有スル性質ナリ。

斯ク簡單ニ説ク𠮟ハ、其製法、誠ニ容易ナル者ノ如シト雖

モ、其實ハ、極テ困難ノ業務ナリ。吾國ニテモ、從來、砂糖ヲ製造スルモノナキニ非ズト雖モ、唯經驗ヲ基トシテ、未ダ能ク學理ヲ應用スルヿナシ。故ニ費用ト勞力トヲ要スルヿ多ク、其品質ハ、却テ不良ニシテ、價格、亦低廉ナラズ。獨砂糖ノ製造法ノミ然ルニアラズ、各種ノ製産、概ネ、皆此ノ如シ。

第二十課　根ノ話

植物ノ根ガ、種子ヨリ萌發スル有樣ハ、已ニ吾等ノ知ル所ナリ。而シテ根ト幹トハ、植物ニアリテ、尤モ肝要ノ機關ナレバ、今、先ヅ、根ノ事ヨリ說キ出ダスベシ。

根ハ植物ニ大切ナルヿ、二アリ。其一ハ、植物ヲシテ土地ニ固着セシメ、常ニ是ヲ其處ニ支持スルナリ。其二ハ、植物ノ成長ニ必要ナル液汁ヲシテ、土地ヨリ吸收セシムルナリ。

根ハ、成長スルニ從ヒ、無數ノ小根ヲ分出スル者ナリ。此無數ノ小根ハ、其土中ヨリ水ヲ吸收シ、是ヲ枝幹ニ送リテ、葉ニ達セシム。已ニ葉ニ達スレバ日光ノ作用ニ由テ、是ヲ養液トナシテ、其全体ヲ養フ。而シテ花ヲ開キ、實ヲ結ブハ、只此養液アルガ爲ナリ。

根ハ、其成長スル路ニ障礙アルトキ、是ニ打チ勝ツ其力ハ、實ニ、人ヲシテ驚嘆セシムル者アリ。例ヘバ、喬木、灌木ノ根ハ、其進路ニ枯木、岩石等ノ障礙アレバ、是ヲ穿チテ、前面ニ達スルヿアリ。或ハ、前面ニ達スルヿ能ハザル場合ニハ、其小

風蘭及ネナシカヅラ

根ヲシテ、廣キ地中ヲ蓋ハシメ、以テ多クノ水分ヲ吸收スルナリ。或ハ、無數ノ小根、相互ニ纏抱シテ、狹路ニ進ミ向フヿアリ。嘗テ、或ル處ノ畑ノ境界ニ、木ヲ植エタル人アリ。其木ノ根、次第ニ廣ガリテ、畑ノ作物ヲ害セントセリ。因テ根ノ進路ヲ斷タンガ爲ニ、畑ト木トノ間ニ、深キ堀ヲ鑿チタリ。然ルニ、其根ハ、再ビ深ク地下ニ入リ、遂ニ堀ノ下ヲ通過シテ、無數ノ小根ヲ、其畑ノ中ニ廣ゲタリト云ヘリ。

根ハ、地面ニ固着スルヲ常トスレモ、中ニハ、地ニ固着セズシテ、生存スルモノアリ。寄生根、氣根ノ如キ是ナリ。寄生根トハ、ネナシカヅラノ類ニシテ、其根ヲ他ノ植物ノ枝幹中ニ穿入シ、其養液ヲ取リテ、成長スルモノナリ。氣根トハ、其根決シテ地ニ達スルヿナク、總テ食料ヲ空氣中ヨリ取ル者ナリ。石斛、風蘭ノ如キハ、即チ是ナリ。

第二十一課　遣唐使

ニ、申シタノデアリマセウ。ソレハ、如何ナル譯ゾト云フニ、一旦、吹キ出シタ息ハ、其アタリノ植物ヤ、花ナドノ養分ニナルモノデアリマス。植物ガ、人間ノ息ヲ吸フニハ、柔ナル綠色ノ葉ノ表面ニテ、炭酸瓦斯ヲ吸ヒ込ミ、ソレヲ分析シテ、炭素ノミヲ止メ、酸素ヲバ、空中ヘ戻シマス。ソノ戻シタ酸素ヲ、人間ガ又吸ヒ込ムト云フ仕掛ニナリテ居ルノデアリマス。

カクシテ、人間ハ、植物ヲ養ヒ、植物ハ、又人間ヲ養ウテ居リマス。ソレダニヨリ、病人ノ部屋ナドニ、盆栽ヲオキマスレバ、其植物ハ、イキイキト美クシクナリマシテ、病人ノ心ヲ慰メルバカリデナク、病人ガ、植物ニ惠シダル物ハ、植物カ

ラ、屹度、謝禮ヲ致スモノデアリマス。即チ前ニモ申シタ通リ、病人ニハ、入用デナイ息ヲ、植物ガ、吸ヒ込ミ、病人ニ入用ナ息ヲ、植物カラ吸ハセル樣ニ致シマス。

第三十四課　奇妙ナ菌

麻睡性ノモノヲ好ム習慣ハ、野蠻人モ、開化人モ、同ジト見エマス。土耳其、支那、印度ニテハ、罌粟ノ實ヨリ製シタ、阿片ト云フモノヲ好ミ、波斯、土耳其、亞非利加ニテハ、麻ヨリ製シタ、ハシーシ(Hasheesh)ト云フモノヲ好ミ、英吉利人、日耳曼人ハ、麥酒ニ苦味ヲ加ヘル、ホツプ(Hop)ト云フモノヲ好ミ、又烟草ハ、世界中、何レノ國ノ人モ、皆好マヌモノハ少

イヤウデムリマス。サテ、此麻睡性ノモノニ就キ中ニモ、吾等ガ、殊ニ珍シク感ジマスハ、シベリヤ(Siberia)人ノ、用フル菌デアリマス。

此菌ハ、樺ノ林ニ多ク生エルモノデ、其色ハ、眞赤ナノモアリ、薄黄色ナノモアリマス。其笠ノ表面ニハ、疣ノ様ナモノガ、澤山ニ出來テ居マス。カムサツカ(Kamtchatka)ノ内ニハ、澤山生エル處ガアリマスカラ、其國ノ人ハ、自然、是ヲ喰フ様ニナリマシタ。是ヲ喰フヤウニスルニハ、暑キ時分ニ、此菌ヲ、採リテ、陰乾ニスルノモアリ、又ハ、生エタ儘ニテ、自然ト乾上ル様ニスルモアリマス。自然ニ乾上リタ物ノ方ガ、麻睡性ハ強イト云フコトデアリマス。

此乾イタ菌ヲ、越橘ノシボリ汁ニ浸シマスト、強イ酒ノ様ニ、人ヲ醉ハセル液ガ、出來マスガ、乾シタ儘ノ菌ヲ、汁ナドニシテ喰ベルト、醉フコトハ、餘リ烈シクナイト申シマス。大抵、普通ノ用ヒ方ハ、先藥ノ様ニシテ、先呑ミニ致シマス。若シソレヲ嚙ミ碎キマスレバ、胃ヲ損フコトガ、アルト云フコトデアリマス。

大キナ先藥ナレバ、二ツ、小サキモノナレバ、二ツ位呑メバ、一二時間ノ後ニ、醉ガ發シテ、一日中、快ク醉ウテ居マス。其時、水ヲ飲メバ、却テヒドク醉フト申スコトデアリマス。其ヒ方ハ、酒ト同ジコトデ、初ノ程ハ、心持ヨケレド、後ニハ、沈醉シテ、心ニモナキコトヲ言ウタリ、又心ニモナキコトヲシタリ

致シマス。又饒舌ノ人ハ、默リテ居ルコトガ出來ズ、自分ノ祕密ナ事デモ、洩ラスコトガアリ、又唱歌好キノ人ハ、絶エズ謠ヒツメテ居ルト申スコトデアリマス。猶ソレヨリモ、ヲカシキハ街道ニ小サキ木ノ切レヤ、藁ナドガアルト、大キナ木ノ株ヲ飛ビ越エル樣ナフリヲ致シマス。

斯タ、人間ノ嗜ム麻睡性ノモノハ、此菌バカリデナク、酒モ、烟草モ、阿片モ、ハシーシモ、皆有害無効ノモノナレド、法律ヤ、宗教ノ力デハ、中々、禁ズルコトガ、出來マセヌ。西洋デモ、國王ヤ、僧徒ガ、骨ヲ折リテ烟草ヲ飲ムコトヲ禁ジヤウトシタケレド、其効ガ、ナカリタサウデアリマス。又近クハ、支那デ、阿片ヲ禁ジヤウトシテ、ヤリソコナヒヲ致シマシタ。ソレ

ダカラ、人間ノ、嗜好ヤ、習慣ヲ一時ニヤメヤウトシテ、遂ニ一國ノ存亡ニモ係カル樣ナ一大事ヲ引キ起シタ例ハ、澤山ニアルコトデアリマス。

サスレバ、如何ニ致シタラバ宜シカラウゾ。現在、有害無效ノモノト知リナガラ、盛ニ世間ニ行ハルヽコトヲ見タナラバ、心アル人々ハ、誠ニ嘆息スルコトデアリマセウ。サレドモ、嚴シキ法律デモ、ソレヲヤメサセルコトガ出來ズ、懇切ナル宗教デモ、思フ樣ニナラズ、稅ヲ重クシテ直段ヲ高クサセテモ、一向キヽメガムラヌ。只々、此嗜好ト習慣トヲヤメルニハ、迚モ急ノ事ニハ參ラヌカラ、一般ニ普通教育ヲ盛ニシテ、人々ノ知識ト道德トヲ進メ、自然ト其有害無效ナル事

ヲ知リテ、是ヲヤメサセル様ニ[illegible]ルヨリ外ニハ、良キ手段ガ、ナカラウカト思ハレマス。

此事ハ、一人一個ノ不幸位ナ事デハナク、人間一般ノ幸不幸ニ係ハル事デアリマスカラ、斯様ナ麻睡性ノモノヲ充分ニ研究シテ、屹度有害無效ナ物ダト云フヿヲ、人々ニ知ラセネバナラヌ。是ヲ研究スルノハ、誰ノ務デアリマセウ。

高等小學讀本卷之二終

文部省圖書課藏書
成平 2年 6月 16日 寄贈
先 東京都練馬区平和台 2-31-13
受入 生屋武雄
文部省圖書課

明治廿年六月廿日版權所有届
明治廿一年九月廿五日出版

文部省大臣官房圖書課藏版

發賣所 東京市京橋區銀座壹丁目廿二番地 大日本圖書株式會社

發賣所 大坂市東區博勞町四丁目十七番屋敷 仝支社

（定價金拾六錢）

小學校教科用書

高等小學讀本

文部省編輯局

高等小學讀本卷之三

目錄

親切ノ返報

中世ノ風俗　（二章）

獅子山

植物ノ變化

保元平治ノ亂

古代ノ戰爭　（三章）

太平の曲

鯨獵

廣島ノ軍事

鹿谷ノ軍評定源平盛衰記
空氣
植物ノ睡眠
源頼政兵ヲ起ス
渡邊競ノ話駿臺雜話
水ノ作用
和歌山
駱駝
陶器ノ製法
源頼朝ノ傳
（二一章）
頼朝ヲ論ズ讀史餘論
花ノ形狀
（二二章）
鹿兒島
鳥ノ話
兵權武門ニ歸ス讀史餘論
鎌倉時代ノ概說
果實ノ話
（二三章）
駝鳥
老農ノ談話
小枝
氣管及食道
志津の石屋
風船ノ話
仲國勅使トシテ小督局ヲ訪フ源平盛衰記

第五課　植物ノ變化

植物ニハ、土地、氣候ニ從テ、種々ノ變化ヲ爲ス者アリ。殊ニ食料トナルベキ植物ノ變化ハ、人々、是ヲ知ルヿ、最モ肝要ナリ。而シテ植物ノ變種ハ、土地、氣候ニ由テ生ズル者多シト雖モ、農夫、園丁ノ耕作、栽培ニ由テ、種々ノ變種ヲ生ズルヿ、亦少シトセズ。

蕪菁、大根ハ、耕作ノ爲ニ、種々ノ變化ヲ生ズル者ナレドモ、亦土地、氣候ニ由テ、自然ニ變生スル者アリ。赤色ノ蕪菁ヲ、一ノ地方ヨリ、他ニ移植スレバ、白色トナルヿアリ。又肥大ノ大根ヲ、他ニ移植スレバ、細ク小サキ者ト變ズルヿアリ。又野生ノ胡蘿蔔ハ、細ク痩セタルヿ、羽莖ノ如クナレドモ、是ヲ耕作スルトキハ、太ク長キ根トナルト云ヘリ。

斯ル變化ハ、ヒトリ食料トナルベキ植物ノミナラズ、盆栽ノ類ニハ、殊ニ多シトス。熱國ニ産スル大キサ石塔ノ如キサボテンモ、一タビ是ヲ吾國ニ移植スルトキハ、次第ニ細小トナリ、高サ、僅ニ四五寸ノ者ニ變生ス。又薔薇、萬年青、蘭ノ如キハ、花戸ノ、是ガ變種ヲ作ル者、幾百ナルヲ知ラズ。其變種ノ者ニ、亦種々ノ名ヲ下シテ、是ヲ愛玩スル者多ク、爲ニ其價ヲシテ數百圓ノ上ニ上ラシムルヿアリ。

植物全体ノ變化ニアラズシテ、其一部分ノ變化ヲ生ズル者、殊ニ多シ。葉ニ就テ、是ヲ云ヘバ、葉質變化シテ、鱗莖中ニ養分ヲ蓄フル者アリ。百合ノ如キ是ナリ。或ハ、葉ノ一部、變化シテ針形ヲ成ス者アリ。ヒヽラギノ如キ是ナリ。或ハ、葉質變化シテ、巻鬚ト

ナル者アリ、豌豆ノ如キ是ナリ、是等ノ物ヲ總テ變形葉トハ稱スルナリ。

花ノ形ニモ、種々ノ變化ヲ生ジ、雄蘂、雌蘂ニモ、亦各種ノ變化アリ、然レドモ、一定ノ標徴ヲ本トシテ、是ヲ研究スルキハ、葉ナリ、花ナリ、皆其變化セシ所以ヲ知ルコヲ得ベシ、而シテ其變化セシ所以ヲ知ルハ、植物ヲ研究スルニ於テ、殊ニ興味アル事柄ナリ。

花戸（ウエホヤ屋ノコトナリ。）

標徴（一種類中、メジルシトナルモノ。）

第六課　保元平治ノ亂

近衞天皇ノ崩ゼラレシ時、崇德上皇ハ、此度、天位ニ登ルベキハ、我子ノ重仁親王ナラントト思ハレシガ、其明年、鳥羽法皇ノ、崩ジ給ヒシ時、其喪ニ臨セントテ、法皇ノ宮ニ至ラレシニ、藤原惟方（コレカタ）、遺詔ト稱シ、拒ミテ門ヨリ納レズ。上皇、大ニ怒リ、遂ニ左大臣藤原賴長ト謀リテ、兵ヲ起サレタリ。是レ保元ノ亂ノ始メナリ。

源義朝、平清盛ハ、後白河天皇ニ從ヒシガ、義朝ノ父源爲義ハ、其子賴賢、爲朝等ト共ニ崇德天皇ニ從ヘリ。賴長ハ、其性、剛愎ナリケレバ、爲朝ノ計ヲ用ヒズシテ、却テ義朝ニ敗ラレ、遂ニ上皇ハ、讃岐ニ遷サレ給ヒテ、九年ヲ經テ、志度ノ鼓岡（フクミガヲカ）ニ崩ゼラル。賴長ハ、其時、流矢ニ中リテ死シ、爲義ハ、出デ、降參セリ。義朝、頻ニ父ノ死ヲ免サレンコヲ乞ヒシカド、天皇免シ給ハズ。義朝已ムコヲ得ズ、其臣鎌田正清ヲシテ、爲義ヲ殺サシメ、又其子弟黨與、七十餘人ヲ斬リテ、事始テ平ギキ。

渡邊競平宗盛ノ門前ニ於テ別ヲ告グ

デ皆具シテタビケリ。競、畏リ給ハリテ、ホクソ笑ヒシテ罷リ歸リヌ。

一族家人、打チ寄リテ、入道殿、是程ノ大事ヲ思ヒ立チ給フニ、一人、取殘サレシハ、眞實ニ遺恨ナリ。大將ノ、斯クウチタヘカタヲヒ給フハ、イナミガタシ。時ノ花ヲカザシニセヨ

ト云フ事モアレバ、只此儘ニテアレカシト云フヲ、競、イヤトヨ、勇士ノ義、サハアラズトテ、宗盛ヨリタビケル鎧着テ、小糟毛ニ乘リ、郎等七騎、打連レテ、三井寺ヘトテ打出デシガ、六波羅ノ門前ヲ通リシ時、馬ニ乘リナガラ、門ノ内ヘノゾキツヽ、高聲ニ云ヒ入レケルハ、競コソ、只今下シ賜ハリシ馬ニ乘リ、三井寺ヘ罷リ越シ候ヘ。御眷顧、蒙リ候ヘ𪜈、三位入道ノ恩、忘レ難ク候ヘバ、此度、死ヲ共ニ致スニテ候フ。御門前ヲ空シク打過ギンハ、本意ナク候ヘバ、御暇ヲ申シ候フトテ、三井寺ニ至リ、賴政ト一所ニナリシガ、其後、宇治橋ノ合戰ニ、潔ク討死シテケリ。（駿臺雜話）

時ノ花ヲカザシニセヨ（時メク人ニ附キ從フコヲ云フ。）

第十七課　水ノ作用

吾等ノ周邊ニハ、常ニ變化ノ絕ユルコトナシ、只其變化タル、極テ徐ヤナルガ故ニ、吾等、是ヲ知ルニ由ナシ。是レ其變化ハ、數百年ヲ積ムニアラザレバ、見ル可ラザレバナリ。然レ𪜈、其變化ヲ致ス物ノ中ニ就キ、勢力、極テ大ナル者ハ、卽チ水ノ作用ナリ。

少量ノ水、能ク岩石ヲ破碎スト云ハヾ、人或ハ、是ヲ信ゼザルベシ。然ルニ、雨水ガ、砂巖石ノ上ニ溜ル件ハ、日光ト空氣トニ暴露ベルノ久シキ、遂ニ砂巖石ハ、斷片細砂トナリテ剝落スベシ。又水、能ク沙石ノ位置ヲ變換スト云ハヾ、人或ハ、是ヲ疑フナラン。然ルニ、潺湲トシテ溪澗ヲ流ルヽ水ハ、常ニ水底ノ砂石ヲ流下シテ、其位置ヲ變換セシム。故ニ今日ノ深淵ハ、明日、却テ淺瀨トナル事アリ。況ヤ、春風、氷ヲ解キテ、積雪、融解スルノ時ニ當リテハ、河水、暴漲シテ、山ヲ崩シ、谷ヲ埋ムルニ於ケルヲヤ。

斯ク、水ハ岩石ヲ碎キ、砂石ヲ流スガ爲ニ、陸地上ノ變化ヲ生ズルヿ、實ニ大ナル者アリ。彼大河ノ河口ニ、砂洲若シクハ、三角洲ノアルハ、皆是レ水ノ積成スル所ナリ。又海岸ノ漸次ニ水ニ奪ヒ去ラレ、若シクハ、漸次ニ土砂ヲ積聚スルモ、亦是レ水ノ力ナリ。斯ク、雨水ハ、岩石ヲ碎キテ、斷片細砂ノ量ヲ增シ、河海ノ水ハ、土砂ノ位置ヲ變換シテ止マザレバ、千百年ノ後ニハ、巍ヤトシテ雲ニ聳ユル山岳モ、變シテ大海トナリ、洋ヤトシテ天ニ接スル大海モ、亦遂ニ陸地トナルノ日アルベシ。水ノ勢力モ、亦大ナリト謂ツ可シ。

砂巖石（砂ノ固マリテ出來スル石ナリ、英語ニテサンド、ストーン（Sandstone）ト云フ。

第十八課　和歌山

和歌山ハ、紀伊國ノ西北隅、名草郡ニアリテ、海部郡ニ跨リ、北ニハ、紀

高等小學讀本卷之六

目錄

家僕ノ忠愛
洋流
織田豐臣時代ノ概說　（三章）
資本
熱
倫敦
豐臣秀吉ノ傳　（二章）
秀吉ヲ論ズ　讀史餘論
挈鞋奴　賴山陽

蒸氣機關　（二章）
ステブンソンノ傳
價ノ高低
英吉利ノ商業　（二章）
關原ノ戰　（二章）
巴黎
德川家康ノ傳　（二章）
德川家康ノ行狀
佛蘭西ノ工業
電氣
電光
フランクリンノ傳
職業ノ選擇
石田三成ノ傳
伯林
光線ノ屈折
儉約ノ戒　參取年山紀聞
林羅山ノ傳
太陽系
理學上ノ昔話
日射力及其事業

小學校教科用書

高等小學讀本

文部省編輯局

高等小學讀本卷之五

目錄

貨幣ノ必要
貨幣ヲ論ズ
殊勝ナル小童ノ成長シテ殊勝ナル人ト爲ル（二章）
リタル話
足利時代ノ概說（三章）
コルクノ話
波士敦
積杆
苦學ノ結果（二章）

潮汐
蜂房
吸子
武人割據
豚史二首頼襄
賢拉特費
子ヲ奪ハレタル話
貨幣ヲ商品タルベキ價格
貨幣鑄造
武田信玄
貧人及富人
日月ノ蝕
（二十章）

ポンプ
上杉謙信
豚史二首頼襄
合衆國ノ鑛業
貨幣ハ勤勞ヲ交換スル媒介ナリ
元素
毛利元就
瓦斯
時間ヲ守ル可シ
目ノ話

小學校教科用書

高等小學讀本

文部省編輯局

高等小學讀本卷之四

目錄

狩野元信ノ話
勉強
勵學の歌　矢田部良吉
北條泰時ノ傳　（二章）
氣候ノ話
條約國
北京
鰐魚
知識ノ話

北條時賴ノ行脚太平記
亞米利加發見（二一章）
海狸
寒暖計
桑方西斯哥
油ノ種類
蒙古來寇
蒙古來襲（二一章）
風ノ原因
通氣
漆ノ話
大塔宮
節儉
泳氣鐘
楠正成ノ忠戰太平記ヲ參照ス
皇國ノ民
紐約克
北條氏ノ滅亡
安東聖秀ノ義氣駿臺雜話
動物ノ天性
楠正成ノ遺誡太平記
俊基關東下向太平記
佐野天德寺琵琶ヲ聽ク駿臺雜話
一塊ノ石

高等小學讀本

文部編輯局

利用書

高等小學讀本卷之七

目錄

天然ノ利源

德川氏ノ政治

月ノ話

耶蘇教ノ禁

維也納

顯微鏡

德川光圀ノ傳

恆星ノ話

望遠鏡

(二章)

政テ咎メズ。妻ハ、夫ガ常ニ酒ヲ飲ム事ヲ憂トセズシテ、月日ヲ送リケリ。

妻ノ、此家ニ嫁セシヨリ、凡ソ一年モ立チヌヲントト思フ頃ニ、夫ハ、妻ノ振舞ヲ見テ、少シ耻ヂタルニヤ、或ル日、其妻ニ向ヒ、汝、此家ニ嫁セシヨリ、未ダ一度モ休日ヲセシ事ナシ。サレド予ハ、一錢ダニ貯ヘズ、若シ少シニテモ貯ヘアラバ、一日ノ休ミヲナシテ、汝ノ母ヲ訪ハント云ヒケレバ、妻ハ、其親切ヲ喜ビ、涙ヲ流シテ、サテモ我夫ニハ、我母ト云ヒケレバ、妻ハ、其親切ヲ喜ビ、涙ヲ流シテ、サテモ我夫ニハ、我母ヲ訪ハント思ハルヽコソ忝ケレ。我レ其一日ノ休ミヲ償ハント云フ。夫ハ、是ヲ打チ聞キ、一日ノ休ミヲ償フトハ何事ナルゾ。汝、斯ル金錢ヲ所持スルニヤト云ヘバ、否々吾ハ、只五勺ノ酒代ヲ所持セリト云フ。サレド夫ハ、其言ヲ眞實トハ思ハザリシガ、妻ハ、小簞笥ヨリ三圓餘ヲ出ダシ、夫ノ手ニ渡シテ、我夫ヨ、是ニテ一日ノ休ミヲ償ハントゾ云ヒケル。

夫ハ、妻ノ振舞ニ深ク感ジ入リ、其金ヲ手ニダニ取ラデ、妻ノ顔ヲ打チ守リ居タリシガ、ヤヽアリテ、汝ハ、酒代ヲ貯ヘシヨナ。吾モ、今ハ酒ヲ飲ム事ヲ思ヒ切ルベシト云ヒテ、其日ハ、妻ノ母ヲ訪ヒテ、日ヲ暮ラシ、翌日ヨリハ、已ソ誓ヒシ言葉ヲ固ク守リテ働キシカバ、今ハ節儉ヲスル事ハ、樂シクナリ行キ、後ニハ大キナル店ヲ出ダシ、製造所ヲモ造リ、別莊ヲモ持テル大身代トナリシトゾ。

第三十五課　近世ノ文明　一

文明トハ、其意義極メテ廣シト雖モ、要スルニ人間ノ幸福ヲ增進シ、又人間ニ便利ヲ賦與スルノ謂ニシテ、文明ガ、愈發達上進スレバ、人間ノ幸福ト便利トハ、愈發達上進スル者ナリ。而シテ近世我邦ハ、文

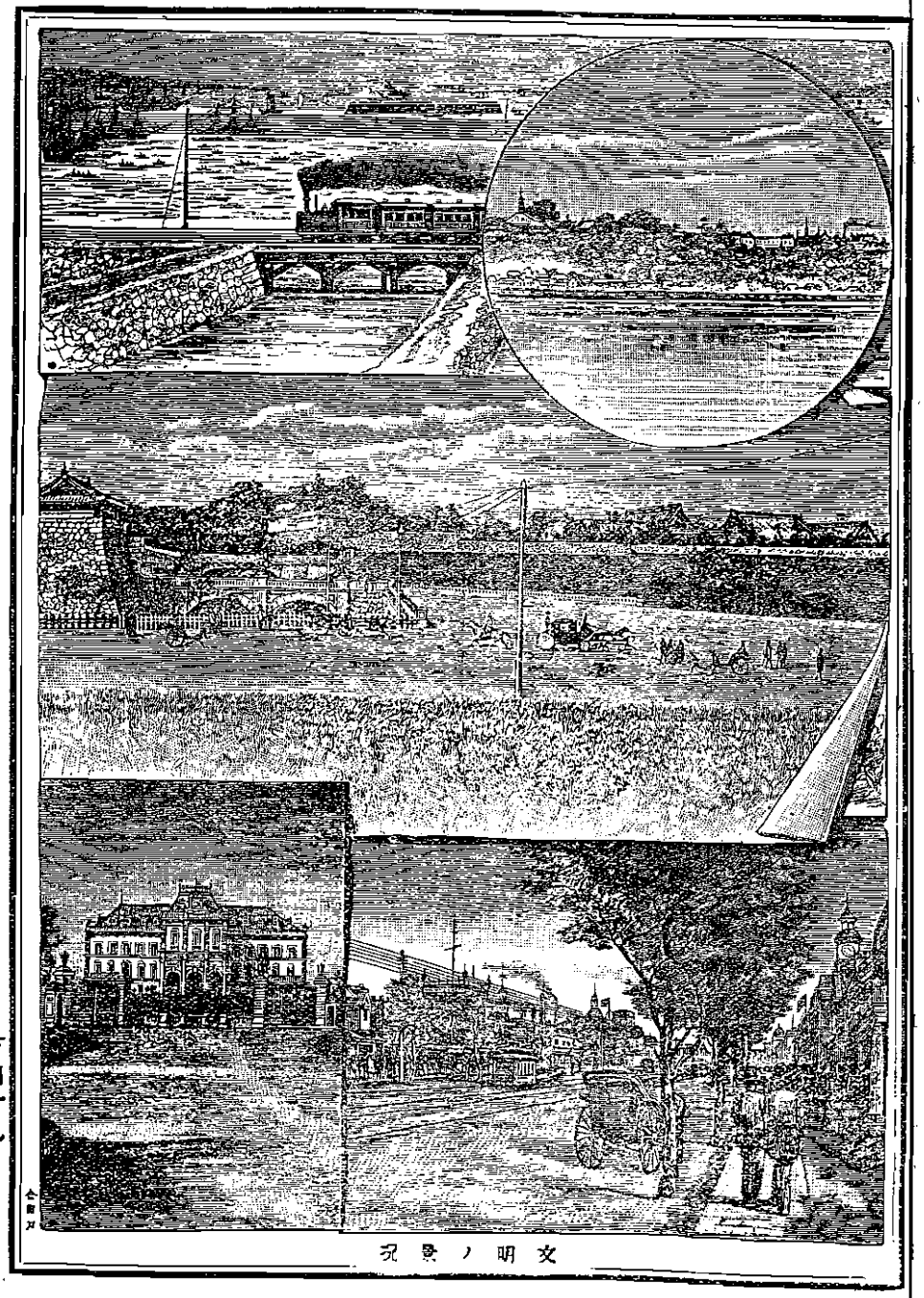
明ノ發達暖ヤ乎トシテ上達スルノ勢アリ。故ニ余ハ、文明トハ、如何ナル事ナルカヲ說カント欲スルナリ。

汝等ノ中ニハ、海濱ニ住居スル者モアラン。又山國ニ生活スル者モアラン。海濱ニ住居スルモノハ、固ヨリ海ヲ目擊シテ、能ク其有樣ヲ知ルナラン。又山國ニ生活スルモノモ、他人ノ談話ト、文辭トニヨリテ、其有樣ヲ悟レルナラン。海ハ、天晴レ、風無キ時ハ、誠ニ平穩ナルモ、若シ一旦暴風ノ起ルコトアラバ、天ヲ衝クガ如キ怒濤、捲キ來リ、其凄マジキコト、言語ニ名狀スベカラズ。然ルニ汽船ノ發明アリテヨリ、是ニ乘シテ、大海ヲ航スルニ、吾人ガ、馬車、人力車ニ駕シテ、坦路ヲ走ルガ如ク縱令風濤ノ難アリト雖モ、殆ド覆沈沒スルノ憂ナシ。而シテ近來我邦ニハ、大小ノ汽船、數多アリテ、東北ハ、北海道ヨリ、西南ハ、沖繩縣ニ至ルマデ、其航路ヲ開キテ、人ヲ、載セ物ヲ運ビ、其安全ニシテ快速ナルコトハ、皆能ク聞知スル所ナルベシ。シカノミナラズ、萬里ノ波濤ヲ越エテ、海外諸國ト往來スル巨大ノ汽船モアリト聞ケリ。汝等、今試ニ一片ノ布帆ニ由テ、其進退ヲ決スル木葉ニ等シキ粗製ノ小船ニ乘シテ、此大海ヲ航スルト想像セヨ。暴風ノ威、怒濤ノ勢、是ヲ想像スルモ、慄然トシテ、怖レザルヲ得ンヤ。然ルニ昔、汽船ノ、未ダ我邦ニアラザリシ時ハ、人皆此危險ヲ冒シタリ。是ニ由テ觀ルモ、文明ハ、人間ノ幸福ト、便利トヲ增進スル者ナラズヤ。

又山國ニ生活スルモノハ、勿論、海濱ニ住居スルモノモ、山路ノ險難ヲ聞知スルナラン。平時ニテモ、其跋涉ハ、頗ル艱難ヲ極メ、殊ニ雨雪ノ時ノ如キハ、或ハ一命ヲ損スルコトアリ。又時トシテハ、猛獸ノ毒牙ニ罹ルコトナキニ非ズ。然ルニ鐵道ノ創設アリテヨリ、非常ナル險阪峻路ニ非ザレバ、一瞬間ニ數哩ヲ行クコト、恰モ平坦ナル砥石

ノ上ヲ走ルガ如シ、而シテ今ヤ我邦ニハ鐵道ノ工事盛ニ起リ、至ル所ニ殆ド其架設アラザルハナシ。就中、尤モ長キ線路ト稱スル東海道ノ如キ、僅ニ二晝夜ヲモ費ヤサズシテ、東西兩京ノ間ヲ往復スルコトヲ得ベシ。故ニ人、亦我邦第一ノ險路ト稱シタル函嶺ヲ踰ユルノ愚ヲ爲サヾルナリ。汝等今試ニ終日歩行シテ、僅ニ此八里ノ險路ヲ踰エ得ルモノト想像セヨ。其勞力ト事業トノ、實ニ相償ハザルヲ悟ルナラン。然ルニ今ヨリ數年前、此鐵道ノ設未ダ完カラザリシ時ハ、人皆此危險ヲ冒シタリ。是ニ由テ觀ルモ、文明ハ人間ノ幸福ト便利トヲ增進スル者ナラズヤ。

汽船ト鐵道トハ、此ノ如ク、旅人ト貨物トヲ迅速平穩ニ運輸送達シテ、彼我ノ間ニ、頗ル往復交通ノ利ヲ開キシカバ、世人ハ、忽チ其洪利ヲ覺知シ、汽船、鐵道ノ通ジ能ハザル處ニハ、特ニ道路ヲ修繕開通シ



文明ノ曙光

テ、旅人ノ往來ト貨物ノ運送トノ利ヲ與シタリ。故ヲ以テ、吾人ハ、汽船、鐵道ノアルガ上ニ、又道路ノ便ニ藉リテ、甲地ノ貨物ト、乙地ノ物産トヲ交換シ、又山國ノ人ハ、容易ニ海濱ニ遊ビ、海濱ノ人ハ、容易ニ山國ニ至ルヲ得ルニ至リタリ。是レ又文明ノ餘澤ニアラザレバ能ハザルナリ。

汝等ノ中ニハ、或ハ電信ノ事ヲ知ラザル者アラン。モ料ルベカラズト雖モ、郵便ニ至リテハ、大抵其事ヲ知ラザル者ナカルベシ。方今郵便ノ如キハ、如何ナル寒村僻邑タリトモ、達セザル處ナク、海岳數百里ヲ隔ツル地ト雖モ、其稅金僅々二錢ヲ以テ、尋常一樣ノ事ハ、數日ヲ出デズシテ、辨ズルコトヲ得ベシ。又電信ハ、國中到ル處ニ架設シ、數百里相距ルノ地ト雖モ、一音信十文字、僅ニ十五錢ヲ以テ、大抵ノ事辨ニ差閊ナキノミナラズ、其往復スルヤ、數百里外ト雖モ、一日中ニ其事件ノ落着ヲ見ルコトヲ得ベシ。抑モ郵便、電信ノ設タル、獨我國內ノミナラズ、遠ク海外諸國トノ通信ニ關シテモ、其速達ノ便ハ、言語ニ盡スベカラザルナリ。今試ニ昔時ノ如ク、郵便、電信ヲ用ヒズ、單ニ人ノ脚歩ニ由テ、音信ヲ往復スルト想像セヨ。江海ノ危險アリ、山岳ノ艱難アリ、其不便ハ、果シテ如何ナルゾ。一考ノ下、忽チ其不便ト、其困難トヲ悟ルコト、容易ナルベシ。實ニ郵便、電信ハ、文明ノ幸福中ノ幸福ナル者、便利中ノ便利ナル者ト謂フベキナリ。

第三十六課　近世ノ文明　二

今ヤ公ニハ、遵ハザルベカラザルノ法律アリ。私ニハ、守ラザルベカラザルノ契約アリ。其條目例規、秩然トシテ紊レズ、一國人民トシテハ、如何ナル者ニテモ、是ヲ犯スベカラズ。社會ノ安寧ハ、故ナク妨グ

93

ベカラザルナリ。然ルニ昔ハ、成文ト稱スベキ法律モ完備セズ、例規ニ準依セル契約モ成立セズ、故ヲ以テ、強ハ弱ヲ凌ギ、富ハ貧ヲ虐ゲ、盜賊ハ、白晝ニ横行シ、無賴ハ、都邑ニ跋扈シ、良民ハ、官トナク私トナク、時ニ其生命、財產、權利ヲ蹂躙セラルヽコトアルモ、是ガ寃ヲ訴フルノ道ナク、偶、是アレバ、暴君、汙吏、又ハ惡漢、奸豪ノ凌辱輕侮ヲ受クルガ如キ時代モリシナリ。汝等、試ニ瞑目シ、當時ノ現狀ヲ默視想像シテ、現時ノ社會ト、其幸福及便利トノ如何ヲ比較セヨ。實ニ其間、霄壤ノ差アルコトヲ發見スルナラン。是レ亦文明ノ餘澤ニアラズシテ何ゾヤ。

今ヤ教育ノ制度、大ニ備ハリ、小學ニハ、高等、尋常等ノ科アリ、中學ニハ、高等、尋常ノ二科アリ、大學ニハ、大學院、分科大學ノ二等アリ、其卑ヨリ高ニ登ル學階ノ順序、整然トシテ亂レズ。殊ニ小學ノ教育ニ至リテハ、通邑大都ハ勿論、山間僻陬ノ地ニ至ルマデ、學校ノ設置アラザルハナシ。而シテ風癘癈疾、其他特殊ノ事情アラザル以上ハ、生レテ六年ニ至レバ、必ズ是ニ入學シテ、成規ノ學科程度ヲ履修セザルベカラズ。又一府縣ノ治下ニハ、其府縣立ニ係ル尋常中學校一個所ヲ設置スルコトヲ許シ、全國ノ地勢ヲ觀テ、便宜ノ地ニ、官立ノ高等中學校ヲ設置シ、又大學校ハ、其學科程度ヲ高尚ニシテ、諸學術ノ蘊奧ヲ究ムルヲ以テ其目的トナス。故ヲ以テ草童耕女ニ至ルマデ、多少ノ教育ヲ受ケザルハナク、中等以上人士ノ子弟ハ、中等以上ノ教育ヲ受クルノ便アリ。殊ニ大學ニ於テハ、學者各其志ス所ノ學術ヲ研究シテ、碩學大儒ハ、將ニ陸續輩出セントス。實ニ盛ナリト謂フベシ。然ルニ昔ハ、學校ノ設置完備セズ、且教育ニハ、制限アリテ、獨士分ノミ不完全ナル教育ヲ受クルノ權利アリ、農工商ニ至リテハ、自ラ

求メテモ、教育ヲ受クルコトヲ得ザルノ習慣ナリキ、故ニ間、士分ノ中ヨリ學者ノ出ヅルコトアリト雖モ、其教育ノ不完全ナルヨリ、人間ノ幸福ヲ增進スルノ技倆ナク、又農工商ノ如キハ、殆ド無學無智ト謂フトモ可ナルガ如キ狀況ナリキ。今日ヨリ是ヲ思ヘバ、其不便ニシテ不快ナルコト、果シテ如何ゾヤ、然ルニ今ヤ此弊全ク其跡ヲ絶チタリ。是レ亦文明ノ餘澤ニアラズシテ何ゾヤ。

ソレ此ノ如ク、道路來往ノ便ハ開ケ、音問應復ノ利ハ起リ、法律ハ整備シ、教育ハ改進シ、是ガ爲ニ、智識ハ、日ニ月ニ發達上進シ、或ハ是ヲ耕耘培種ニ應用シテ、農產物ヲ增殖シ、或ハ是ヲ工作製造ニ應用シテ精美ノ物品ヲ製造シ、或ハ是ヲ賣買貿易ニ應用シテ、商機ヲ銳利ニシ、或ハ是ヲ工匠技藝ニ應用シテ、美術ヲ修飾ス、故ヲ以テ、近來我邦ハ、殷然トシテ、國土固有ノ富ヲ興シ、燦然トシテ文物典章ノ美ヲ發セリ。我國民ノ、是ガ爲ニ、幸福ト便利トヲ享受スルコトハ、果シテ如何ゾヤ。

抑モ文明ノ事ハ、繽紛錯雜ナルヲ以テ、一ヤ其些事ニ論及スル能ハズト雖モ、茲ニ特ニ揭記セザル可ラザルモノアリ。即チ我國ハ、武ヲ以テ國ヲ建テ、又環海ノ國ナルヲ以テ、海陸ノ武備ニハ、殊ニ意ヲ注グノミナラズ、人民ノ性質、最モ是ニ適合スルヲ以テ、將卒ハ勇悍ニシテ、能ク其技ニ熟シ、戎器ハ、戰艦、銃砲、皆其精堅ヲ極メ、平常能ク其業ニ服シ、其技ヲ研キ、內外不慮ノ難ニ應ズルノ氣象、凜然卓立シテ、一日モ怠ルコトナシ。又平時ニ在リテハ、憲兵、警察ノ設アリテ、人民ノ安寧ヲ保護シ、其注意至ラザル所ナシ。是レ亦昔時ノ、企テ及ブベキ所ニアラザルナリ。其他、居常、衛生ノ法規ト云ヒ、惡疫豫防ノ方法ト云ヒ、饑饉災害ノ救助ト云ヒ、公私ノ論ナク、皆全力ヲ擧ゲテ、是ガ

義務ヲ盡サヽルナシ。是レ昔人ノ夢ニダモ見ルコト能ハザリシ所ナリ。若シソレ通邑大都ニ於テ、街衢規模ノ宏大、家屋建築ノ壯麗、街燈裝置ノ完備ナルガ如キハ、昔時ニ超越スルコト幾倍ゾヤ。是レ余ノ贅言ヲ待タザルナリ。

嗚呼今日、我國民ガ、此幸福ト便利トヲ享受スルハ、全ク近世文明ノ賜ナリ。而シテ此文明ハ、將來益〻上進シ、我國民ニ益福利ヲ賦與セントスルノ勢アリ。抑モ是ハ、誰ノ賜ナルゾ、即チ我睿聖文武ナル天皇陛下ノ賜ナリ。吾人、此盛世ニ生レ、此洪恩ニ浴スルヲ思ハヽ、鞠躬盡力シテ、各其業トスル所ニ勵精シ、其職トスル所ニ勤勉シテ、陛下ノ洪恩ニ、奉答セズンバアルベカラザルナリ。

高等小學讀本卷之七終

重文旧開智学校資料
昭和44年6月10日購入
先入受
長野市若松町
山崎書店
重文旧開智学校
持明堂長田書店

明治廿年六月廿日版權所有屆
明治廿二年十月二十八日出版

文部省總務局圖書課藏版

發賣所　東京市京橋區銀座壹丁目二十二番地　大日本圖書會社

發賣所　大坂市東區上難波南ノ町七十二番屋敷　仝支社

（定價金拾八錢）